

# 大震災・復興ニュース(第118報)

平成25年7月25日  
仙台地方振興事務所水産漁港部

## 1 水産業復旧・復興に向けた対応状況(国及び県全体の動き)

宮城県内の水産物の放射性物質測定結果について

- 1 測定年月日 平成25年7月19日～7月23日
- 2 測定分析機関 宮城県,(公財)海洋生物環境研究所,いであ(株),(株)総合水研究所,(一財)九州環境管理協会。

### 3 測定結果

・全ての検査品目について,基準値を下回り,安全性に問題のないことが確認されました。

なお,「不検出」とは,放射性物質の濃度が,検出下限値に満たない(検出下限値未満である)ことを指します。

水産物(採取日 平成25年7月14日～7月18日)

(単位:ベクレル/kg)

種別	漁獲場所	放射性セシウム	種別	漁獲場所	放射性セシウム
ヒラメ	気仙沼唐桑沖	3.4	ヒラメ	仙台湾	不検出
アイナメ	亘理荒浜沖	不検出	ヒラメ	仙台湾	不検出
クサフグ	仙台湾	8.6	マコガレイ	仙台湾	不検出
ジンドウイカ	仙台湾	不検出	メカジキ	三陸南部沖	1.8
スズキ	花渚浜	18	カツオ	日立・鹿島沖	不検出
ヒガンフグ	亘理荒浜沖	不検出	アユ	二股川(登米市)	不検出
ヒラメ	花渚浜	16	アユ	二股川(登米市)	不検出
ヒラメ	岩沼市二の倉	9.3	アユ	松川(蔵王町)	不検出
ヒラメ	仙台湾	12	ヤマメ	松川(蔵王町)	不検出
ヒラメ	仙台湾	12	-	-	-

## 2 管内の復興に向けた動き

<水産漁港部からのお知らせ>

東京で松島湾産焼きノリの試験販売をしました

・7月19日(金),20日(土)の2日間,東京都千代田区のWATERASタワー棟前広場で,浦戸支所の千葉さんが焼きノリの試験販売を行いました。この試験販売は,将来の6次産業化をにらみ,消費者の声を直接聞こうと「農林漁業者等地域資源活用新事業創出支援事業」の一環として実施したものです。当日は,松島湾産のノリということで注目を集め,多くの方に試食していただいたところ,皆さん「美味しい」と声を上げていただき,購入していました。

好評だった試験販売



「漁業者支援講習（宮城県南部夏期コース）」が行われました。

・7月18日（木）、水産漁港部を会場に「平成25年度漁業者支援講習宮城県南部夏期コース」が開催されました。この講習会は、株式会社パソナが主催し、宮城県漁業士会南部支部が協力しているもので、南部地区の漁業者を対象に、漁業経営やマーケティングといった内容で全5回のカリキュラムで行われます。

この日は、予想を大幅に上回る50人程度が参加し、このうち20代、30代の若い世代が半数以上を占めました。今回は「漁業と漁村を元気にするためには～6次産業化と漁村の活性化～」をテーマに、(株)エンジョイ・フィッシャーマンの金萬智男氏、大島肇氏を講師に迎え、6次産業化の制度や実例について学んだ他、グループに分かれて意見交換を行いました。参加者は熱心な様子で受講し、意見交換会では、今後の活性化に役立つ意見が多く出されました。

なお、第2回目の購入は7月23日（火）に開催され、こちらも大変好評を得ました。第3回以降の講習にも、漁業者や関係者から高い関心が寄せられています。



講義の様子



グループの意見発表

塩竈市の水産業の現況に係る意見交換会が開催されました。

・7月23日（火）に、宮城県トラック協会塩釜支部会議室において、塩釜市水産振興協議会主催による県と水産関係者との意見交換会が開催されました。この意見交換会には水産振興協議会会員など関係者約30名と、県からは山田農林水産部長や宮城県議会の佐藤光樹議員、オブザーバーとして伊藤信太郎衆議院議員などが出席して、塩釜地区の復旧・復興に当たって抱えている課題や要望等について意見交換が行われました。

各業界代表から、業界が抱える課題について説明があった後、山田部長から県の復旧・復興支援の取り組みや国に対する要望について説明され、加えて伊藤議員からも現在の政府の取り組みについて情報提供があり、塩竈の水産業の発展に向けた活発な意見交換が行われました。



意見交換会の様子